

つなぐ福幸メッセ 2021 実施要綱

～「コロナ禍を生きる、支える」みんなのエール～

- 目的** 福祉の役割は、さまざまな理由で生活のしづらさを抱えた方の暮らしに寄り添い、主体性や自らの課題に向かう力を取り戻し、自己実現や自分らしい生活を送れるよう支援していくことです。
いま、長引くコロナ禍は、社会に閉塞感と不安を与え、多くの人の希望や意欲を奪っています。そして、福祉の現場においても、高齢者や障がい者、児童等利用者の感染対策とケアや支援の両立という難しい課題に直面しながらも、福祉本来の役割を達成しようと模索しています。
そこで本会では、県内の各福祉関係団体との共催により「コロナ禍を生きる、支える」をテーマに、福祉現場において「コロナ禍で心の支えになった出来事」等のエピソードを募集し、発信することで、コロナ禍における県民へのエールと福祉現場が大事にしている価値を共有する機会とします。
- 主催** 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会
- 共催** 福井県内市町社会福祉協議会、福井県社会福祉法人経営者協議会、福井県老人福祉施設協議会、福井県身体障害者（児）援護施設連絡協議会、福井県知的障害者福祉協会、福井県社会的養護施設協議会、福井県民間保育園連盟、福井県デイサービスセンター協議会、福井県地域包括・在宅介護支援センター協議会、福井県ホームヘルプサービス事業者協議会、福井県社会就労センター協議会、福井県民生委員児童委員協議会、福井県共同募金会
- 後援** 福井県
- 協力** 株式会社ウララコミュニケーションズ
- 募集対象** 福祉従事者（社会福祉施設や事業所の職員）や福祉の活動に関わる方（利用者・家族、福祉関係団体、地域福祉活動に関わる住民・ボランティア、学生）
- 募集内容** 福祉現場や活動で「コロナ禍の心の支えになった出来事」、「コロナ禍の中での心温まるエピソード」を募集します。

<応募要領>

募集内容		備考
応募作品	応募票	・所定の応募票に必要事項を記入して添付する。 ・応募者の氏名は実名とする。 ・応募は1人1作品までとする。
	タイトル	・作品中には、利用者の個人名や住所等、個人情報が掲載されないように十分に留意する。
	本文	・原稿用紙/Wordデータ、縦書き/横書きなど問わない。 ・各事業所等の広報誌に掲載されたものでも可だが、創作されたものでないこと。
添付物（任意）	写真・グッズ	・福祉現場や活動で「コロナ禍の心の支えになった出来事」や「コロナ禍の中での心温まるエピソード」を概ね600字以内（短文でも可）の自由作文にして、応募する。
		・エピソードに関連する写真やグッズがあれば一緒に提供してもらう。 ・1作品につき、写真・グッズの添付はそれぞれ1点までとする。 ・写真等には、利用者の個人名や住所等、個人情報が掲載されないように十分に留意する。 ・現物/画像データなど問わないが、大型なものについては応相談とする。 ・利用者等の写真については、必ず本人もしくはご家族の同意を得て、応募してもらう。

※応募作品および添付物の返却はしません。応募作品の編集・著作権を含むすべての著作権は主催者に帰属し、展示物や作品集にして二次使用する場合があります。

福祉従事者の皆さんへ

・コロナ禍で利用者の生活や事業所内の雰囲気も大きく変わってしまったかもしれません。そんな日々にいるどりのやあらぎを与えるちょっとした出来事や工夫、職員のモチベーションや気持ちを高めた出来事などをお寄せください。(写真とコメントでもOK)

利用者・家族、地域の皆さん

・コロナ禍の利用者を守り、寄り添い続ける福祉の現場での出来事や福祉従事者への思いをお寄せください。
・地域での「つながり」を実感した出来事、「心をつなげた」出来事などをお寄せください。

8 募集期間 令和3年8月25日(水)～9月24日(金) ※必着

9 応募方法 郵送または電子メールによる (①応募票 ②作品 ③関連する写真・グッズ)

10 全体スケジュール

	内容	時期・会場	備考
1	講評委員への依頼	8月上旬	
2	企画の共催依頼、チラシの作成・作品募集開始	8月中旬～9月中旬	・チラシの配布、ホームページ・Facebook 掲載、FAX による一斉送信、マスコミへの投げ込み、広告掲載、共催団体への依頼
3	講評委員が応募作品に目を通し、講評を行う(講評委員会の開催)	9月下旬～10月上旬	・講評委員に応募全作品を読んでもらう ・講評委員会を開催し、講評内容に関する意見交換を行う ・各講評委員からの講評(寄稿)
4	「つなぐ福幸メッセ2021」と題して福井県社会福祉福祉大会や県内ショッピングセンター等で展示を行う	10/23(土) ユーアイふくい～12月頃	・10/23(土)の福井県社会福祉大会を皮切りに、県内のショッピングセンター等の共用スペースを活用し、移動型の展示会を行う
5	「つなぐ福幸メッセ2021」オンライン作品集の制作と発信	11月頃～	・オンライン作品集を制作し、インターネットを活用して県民向けに情報発信を行う
6	移動型展示会やオンライン作品集を見た県民からの感想やコメントの募集	令和4年2月頃	・県民からの感想やコメントを募集し、ホームページへの掲載を行う
7	応募作品と県民からのコメントをもとにしたショートムービーの作成と公開	3月頃	・現場の映像や応募作品からのフレーズ、県民からのコメントを盛り込んだ5分程度の動画を作成 ・県社協のYouTubeチャンネルで公開する

11 講評委員

	委員名	経歴
1	作家 宮下 奈都 氏	福井市生まれ。2016年、『羊と鋼の森』で本屋大賞を受賞。ほかに『スコレ No.4』『よろこびの歌』『誰かが足りない』など。最新刊は『ワンさぶ子の急情な冒険』。  ©Yoshika Horita
2	福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科 教授 奥西 栄介 氏	関西学院大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士課程後期課程満期退学。専門は、高齢者福祉、高齢者ソーシャルワーク、高齢者ケアマネジメント。
3	株式会社ウララコミュニケーションズ月刊ウララ 編集長 宮田 耕輔 氏	編集・デザイン・出版・コンテンツ制作会社。地域特化型メディア『URARA』を運営するほか、さまざまな印刷物やデジタルコンテンツの受注制作を行う。

ささやかな場面や何気ないひとことが、光になってくれることがあると思います。共有させていただけたら嬉しいです。

12 応募および問い合わせ先

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 総務企画課 総務企画グループ
〒910-8516 福井市光陽2-3-22 県社会福祉センター内
TEL 0776-24-2339/FAX 0776-24-8941/E-mail fukushi@f-shakyo.or.jp
HP アドレス <https://www.f-shakyo.or.jp>



応募サイト QR コード